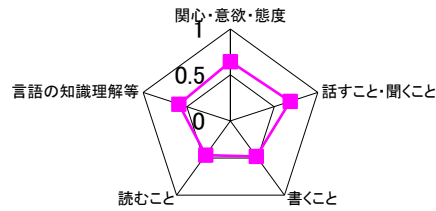


内容別・観点別の分析

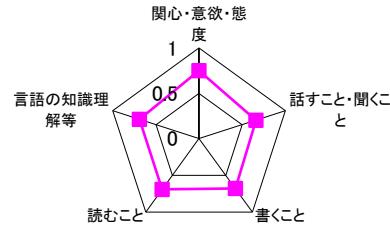
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	65%
話すこと・聞くこと	68%
書くこと	48%
読むこと	46%
言語の知識理解等	59%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



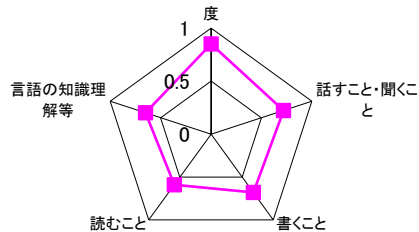
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	75%
話すこと・聞くこと	66%
書くこと	68%
読むこと	69%
言語の知識理解等	69%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	85%
話すこと・聞くこと	72%
書くこと	68%
読むこと	59%
言語の知識理解等	65%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	まだ入学したばかりで、中学の学習になれていない面があり、今後自然に改善していく部分があると思う。概ね、国語に関心を持ち前向きに学習に取り組んでいると思うが、読む、書くの観点における達成率が低いのは課題であると考えている。	単元ごとに、何らかの作文課題を設けて、適切な評価していくということ。朝読書や自習課題などで読書の機会を多く与え、読み取った内容を、書き表す機会を多く設けるとのこと。	漢字の学習、語句の意味の理解など、基本的な読み書きの徹底を図る。2年生と共に、長い意見文をまとめて発表することに挑戦させる。古典を通じて、日本語や日本文化に興味をもたせる。
2年	基本的なことはすべての項目において、定着していると考えられる。しかし、少しずつ足りない部分が、それぞれの力を伸ばす足かせになっている。語彙力がなければ、表現できないし、表現できなければ、自分の考えを見直し、整理することもできない。今後、「書く」指導に重点を置くことで、少しずつ足りない力を伸ばしていきたい。	書く指導の中で、句点を多くとるように指導する。一文一文が短いと、自分の言いたいことを整理しやすい。また型通りの文章を多く書かせることで、書き出しや展開方法を身に付けさせる。	《発展的》 ・型のパターンを増やし、選択肢ながら文章を書く。 《補充的》 ・穴埋めの形を作り、間に文を差し込むようにして文章を作る。
3年	特に「読むこと」に関して、課題が見られる。まとまった文章を集中して読むことが難しい生徒が多い。語彙力のなさも関係していると考えられる。今後「読む」指導に重点を置き、語彙力を豊かにするとともに、文章の内容を整理できる力をつけていきたい。	これまで通り、辞書を使いながら言葉の意味をしっかりと理解させてから、文章を読むように指導する。また要約を通して、文章の内容や筆者の主張を整理できる力を身に付けさせる。	《発展的》 ・筆者の主張に対する自分の意見を書かせる。 《補充的》 ・段落毎に要約する。